

## 弱い人が強くなる方法

「ペトロは言った。『わたしには金や銀はないが、持っているものをあげよう。ナザレの人イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい。』そして、右手を取って彼を立ち上がらせた。すると、たちまち、その男は足やくるぶしがしっかりして、躍り上がって立ち、歩きだした。」(使徒言行録3章6、7節)。

この驚くべき奇跡は、人々の間に素晴らしい感動を引き起こしました。では、これを応用してみましょう。

この人は「生まれながら足の不自由な男」であり、自分ではどうすることもできない状態でした。彼は進んで歩こうとしたでしょうが、歩けなかったのです。同様に私たちも、ダビデと共に「わたしは咎のうちに産み落とされ、母がわたしを身ごもったときもわたしは罪のうちにあった」(詩篇51:7)とすることができるでしょう。その男は、手足が強くなることがないまま、年を追うごとに体の重さが増し、ますます歩けなくなっていました。同様に、私たちも罪を繰り返すことによって、年を重ねるごとにその力が強くなっていくのです。

しかし彼は、キリストの御名を信じることによって、その病苦から完全に解放されました。同様に私たちも、信仰によって完全なものとされ、これまで不可能だったことができるようになるのです。古代の偉人たちに見られる信仰の驚くべきことの一つは、「弱かったのに強い者とされた」ことです(ヘブル11:34)。

神が私たちをご自分の僕として受け入れてくださることは、私たちが罪の力から解放してくださるというその行為そのもののうちに証明されています。しかし今、再び葛藤が訪れます。サタンが、激しい誘惑の鞭で武装してやってくるのです。私たちは、悲しい経験によって、サタンが自分よりも強力であること、そして、自分の力だけではサタンに対抗できないことを知っています。しかし、私たちは助けを求めて叫びます。そして、もはやサタンの支配下にはいないことを思い起こすのです。神に身をお委ねしたのですから、神は私たちをご自分の僕として受け入れてくださっています。これは、神が私たちを守ってくださる証拠です。なぜなら、神はご自分のものを心にかけていてくださるからです。私たちは、自分の中で「善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださる」という保証を得ることができるのです。(ピリピ1:6)

この確信のもと、私たちは強く抵抗することができるようになるのです。[1]

注:

1. ワゴナー『キリストとその義』90-92ページ